

## 「青年部総会」報告

6月18日、2022年度青年部総会が市従会館にて行われました。新組合員の参加もあり、自己紹介や情報共有をしながら、仲間として集う貴重な機会となりました。

ろうきん、こくみん共済coopによる資産についての学習会のあと、組合活動についての



説明、あいさつ、自己紹介があり、議事に入りました。昨年度活動報告の一つめとして、戸定分会の櫻井さん、YSFH分会の藤森さんより、大都市高教組青年部交流集会の報告がありました。昨年度は広島で実施されましたが、新型コロナウイルスの影響により、オンライン参加でした。講演では元プロ野球選手の新井氏より、異業種の組合活動についてのお話をいただき、各都市との交流では部活動の特長・超勤や勤務実態についての話題があがったとのことでした。昨年度青年部長でもあった櫻井さんは、他都市から多くの参加があったことにより、浜高教青年部もより活動を盛り上げていきたいと話していました。活動報告の一つめとして、2021年度青年部会計報告が、執行委員の渡辺さんより

ありました。協議事項は、①青年部規約確認 ②2022年度青年部活動方針(案) ③2022年度青年部予算について ④青年部新役員選出 ⑤年間計画検討、各種活動参加者選出 ⑥対市要求検討の六点でした。①と②については、旧部長の櫻井さんより、次年度以降は協議事項でなく確認事項とすることが提案され、承認されました。また、③についても、旧副部長の藤森さんより説明があり、承認されました。④青年部新役員は、部長にYSFH分会の藤森さん、副部長に東分会の屋宜さん、書記にYSFH分会の新田さんが選出されました。⑤では、コロナ禍で思うように実施できていなかった青年部交流会について、櫻井さん・伴在さん・藤森さん・渡辺さんより、内容の提案がありました。ボードゲームや、脱出ゲーム、ダーツパーティー等が候補とな

## 「女性部総会&学習会」報告

2022年6月4日に市従会館にて第1回女性部総会が行われました。

各分会の女性部員が参加し、昨年度の活動内容やスローガン等の確認、顔合わせ、新役員の紹介など今年度の活動について確認をおこないました。

新型コロナウイルスの影響でなかなか思うように活動でき

### 女性部学習会

## 「中国茶をたのしむ」

今年の学習会は、ティー・インストラクターの蛭川美香子先生をお招きし、「中国茶をたのしむ」というテーマで行われました。想像以上に多くの方に興味を持っていただき、にぎやかな学習会となりました。

中国茶は、「発酵度」の違いで香りや味わいが大きく変わるそうです。日本人が良く飲むウーロン茶は発酵度がちょうど中間で、青茶と呼ばれ、ジャスミン茶は発酵が強いのお茶になるそうです。ちなみに本場中国では緑茶が良く飲まれており、ウーロン茶を飲む人は10%以下の割合らしく、驚きの声が上がりました。

みなさんお待ちかねの実習では、蓋碗と呼ばれる蓋つきのカップを使用して2種類のお茶を味わいました。蓋碗は、急須としてもカップとしても使用できる一つで何役もこなせる優れた

中国茶は、「発酵度」の違いで香りや味わいが大きく変わるそうです。日本人が良く飲むウーロン茶は発酵度がちょうど中間で、青茶と呼ばれ、ジャスミン茶は発酵が強いのお茶になるそうです。ちなみに本場中国では緑茶が良く飲まれており、ウーロン茶を飲む人は10%以下の割合らしく、驚きの声が上がりました。

みなさんお待ちかねの実習では、蓋碗と呼ばれる蓋つきのカップを使用して2種類のお茶を味わいました。蓋碗は、急須としてもカップとしても使用できる一つで何役もこなせる優れた

りました。今年度大阪で行われる大都市高教組青年部交流集会と共に、参加を呼びかけるとのことでした。また、今回も行った総会前の学習会についても、内容や講師などの要望を募っているとのことでした。⑥対市要求検討では、初任者が最初の異動で中学校に強制的に異動させられることのないように求める要求について、希望が叶えられるように、引き続き重点とすべきだとの声があがりました。また、部活動の手当について、新たに重点とすべきという意見がありました。部活動については、地

ない状態にあります。新しい組合員となった先生とも顔合わせができたことで総会や学習会などの今年度の活動に向けて良いスタートになったと思います。今年度は昨年度よりも活動ができればと思います。

(戸定分会 金子直子)

は、蓋碗と呼ばれる蓋つきのカップを使用して2種類のお茶を味わいました。蓋碗は、急須としてもカップとしても使用できる一つで何役もこなせる優れた

域部活動へ移行する動きについて、青年部としてどう対応・要求していきたいか、各分会でも確認・検討してほしいとのことでした。

終了後は会議室で感染予防対策を講じつつ食事をし、懇親会を行いました。まだまだ感染予防対策は必要ですが、安全な形で少しずつ、以前のような交流を深める活動も行えるようになるのではないかと思います。市立高校の今後を担っていく世代として、仲間と連帯を深めていきたいものです。

(戸定分会 吉沢歌音)

域部活動へ移行する動きについて、青年部としてどう対応・要求していきたいか、各分会でも確認・検討してほしいとのことでした。

終了後は会議室で感染予防対策を講じつつ食事をし、懇親会を行いました。まだまだ感染予防対策は必要ですが、安全な形で少しずつ、以前のような交流を深める活動も行えるようになるのではないかと思います。市立高校の今後を担っていく世代として、仲間と連帯を深めていきたいものです。

(戸定分会 吉沢歌音)

域部活動へ移行する動きについて、青年部としてどう対応・要求していきたいか、各分会でも確認・検討してほしいとのことでした。

終了後は会議室で感染予防対策を講じつつ食事をし、懇親会を行いました。まだまだ感染予防対策は必要ですが、安全な形で少しずつ、以前のような交流を深める活動も行えるようになるのではないかと思います。市立高校の今後を担っていく世代として、仲間と連帯を深めていきたいものです。

(戸定分会 吉沢歌音)

ものどそうです。中国茶器はどれもかわいらしく素敵で、一式そろえて見ているだけでも幸せになりそうです。まず一つ目のお茶は、碧螺春と呼ばれ、私たちに味わいやすく日本茶のようなさっぱりとした味わいながら、一緒にいただいたあんこのお茶菓子がよく合う癒されるお茶でした。二つ目のお茶は阿里山金萱というお茶で、しっかりとした味わいほのかにミルクのような甘みを感じられるお茶でした。2種類とも、見た目

## 第62回横浜母親大会報告(5/29 港南公会堂)

「奇しくも本日5月29日は横浜大空襲のあった日です」という実行委員長の言葉で開幕した横浜母親大会。コロナ禍で昨年、一昨年は開催できなかったという中で、夏日の中、会場は熱気に包まれていました。

オープニングはコーラス「ひこ船」による合唱。どの曲も印象深く、素敵な歌声。中でも77年前の横浜大空襲の体験を歌詞にした「かあさんの背中」――本吉美佐子さんの手記より、「ジェームス三木作詞による「わたしを褒めてください」(この「わたし」は憲法9条のこと)」、この2曲は胸に迫りくるものがあり、世界が大きな歴史的転換期を迎えようとしている今、「平和を乱すもの、生命を阻むもの、母親に重荷を背負わせているもの……」という誓いの中、続けられてきた母親運動の来し方行く末に思いを至らせました。記念講演では、太田啓子さん(弁護士)が「ジェンダー視点で憲法を！」という大変興味深いテーマで、お話をし

も香りも色も味わいもまったく違うもので、中国茶の奥深さを感じる事ができました。

参加した皆さんの反応はとてもよく、初めて見る中国茶に驚きの声が上がったり、お茶を煎れる所作や味わいに会話がはずんだり、終始リラックスした雰囲気の良い学習会となりました。蛭川美香子先生、この度は貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

(Y別分会 久家紗希)

てくださいました。まずは私たち素人にもわかりやすく「憲法と法律の違い」を説明し、その後、「ジェンダーギャップ指数が156か国中120位」の日本社会の仕組み、問題点を指摘。(因みに、ジェンダーギャップ指数が日本より低い国はイスラム系の国々とのこと。日本はインドの下にいました。)他国との比較データや憲法第十二条「不断の努力」の紹介など、小気味よい話に引き込まれ、あっという間の90分でした。衝撃的な日本の現状をデータや具体例で突きつけられるたびに、会場からどよめきやため息、失笑があがっていました。公教育で性差別を無くすよう教えるべきとして、ジェンダー平等教育法が施行された台湾の例を挙げ、「子ども時代からの教育が大変重要」という提言には大変説得力がありました。最後に各運動の交流とともに特別決議が採択され、閉幕しました。

(桜丘分会 生方千尋)

も香りも色も味わいもまったく違うもので、中国茶の奥深さを感じる事ができました。

参加した皆さんの反応はとてもよく、初めて見る中国茶に驚きの声が上がったり、お茶を煎れる所作や味わいに会話がはずんだり、終始リラックスした雰囲気の良い学習会となりました。蛭川美香子先生、この度は貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

(Y別分会 久家紗希)

# 「第27回2022平和のための戦争展in横浜特別企画1…戦争・空襲」に参加して

一番印象に残ったのは、日吉台中学校の朗読劇「沖繩少年ゲリラ兵の記憶」でした。護郷隊という少年ゲリラ兵の組織に何も知らずに組み込まれ、訓練で仲間を思い切り殴らせられるなど兵士として仕立て上げられていく悲惨な様、斥候としてアメリカのキャンプに潜り込み食事を与えてくれたやさしい兵士を殺さなければならなかった少年の悲しみが、同じ年ごろの生徒さんの声により、リアルに伝わってきました。次の柴田順

吉さん（89歳）によると、「中学生の僕が体験した横浜大空襲」は豊富な写真と当時の横浜に住む知識層が正確なアメリカとの力の差を知っていたこと、愚かな軍部の言論統制やプロパガンダにより、命からがら逃げ惑った様を知ることができました。現在に生きる私たちは、平和だと勘違いしてはいないか、今一度考えるいい機会になりました。

（盲分会 吉田敦子）

# 高校懇二〇二二年度総会

五月十二日（木）、全国高校組織懇談会総会が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、二年間Web会議システムを利用しての開催でしたが、今年も三年ぶりに対面で開催されました。全国から二十四組織五十名が参加しました。

宮下直樹代表世話人（福井高教組執行委員長）の主催者あいさつで始まりました。続いて山田真平事務局長（全教中央執行委員）から二〇二二年度活動経過、会計決算報告、会計監査報告、二〇二二年度活動方針、会計予算案が提案されました。

提案後は小沢道夫さん（埼玉高）から「ロシアのウクライナ侵攻をめぐって憲法を守るとりくみ」、奥田平さん（滋賀高）から「保護者と教職員の声で県立高校タブレット端末の公費導入を求めるとりくみ」、坂口敦さん（愛知

高）から「ロシアのウクライナ侵攻をめぐって憲法を守るとりくみ」、奥田平さん（滋賀高）から「保護者と教職員の声で県立高校タブレット端末の公費導入を求めるとりくみ」、坂口敦さん（愛知

# 臨任の集い （2022.5.14） 参加者3名+講師2名 計5名+執行委員数名



講師二人の体験談には不思議と、複数の共通点がありました。「型を作る」（例 ロールプレイングは全て ①どうしたの？大丈夫？②他の先生も、で進める！） 「面接は会話的に」（発言はワンフレーズ+αで、言葉のキャッチボール）面接、小論文：を多くの同僚の協力で繰り返し練習。面接は「楽しかった」「分かりませんがとも答えたが、リズムの良い会話ができた」

まず、臨任をめぐる問題を10分程確認しました。（例・公務員に非適用の労働契約法18条を、法律の主旨と正反対で運用し「臨任5年間の雇止め」をしているその後、近年教員採用試験に合格した2名を講師に迎えて講習会を開催しました。

面接試験30分間、ロールプレイング、模擬授業など、実体験と分析の報告後、5人で「会話的」に情報交換を行いました。

# 編集後記

大変遅くなりましたが、「定期大会報告号」をお届けします。本来なら4ページ建てで発行されるものを「2ページ建て×2号」という形で発行することになったため、「大会宣言」だけがポイントと後ろに離れて掲載されていることをご容赦ください。

定期大会における各分会からの報告は実に活発かつ切実なものでありました。ここに出された諸問題の解決なしに「教職はブラック」という汚名が返上されることありえない！と頷かされました。当事者が声をあげなければ状況が変わるはずはありません。そのためにも、浜高教への一層の結集を！（編集部）



# 2022 大会宣言

今、平和主義が、危機に瀕しています。昨年の衆院選において獲得した絶対安定多数を後ろ盾とし、与党を中心に、改憲への動きが活発化しています。南シナ海や台湾周辺での中国の軍事活動やロシアのウクライナ侵攻を都合よく利用し、国民の不安をあおり、ことをすすめるようとしています。国際紛争解決のためには武力が必要だとする短絡的思考は、悲惨な戦争体験に基づく、憲法9条における戦争放棄の精神の根本を否定するものです。武力により対話は閉ざされるのです。戦争は何も生み出さないのです。今、きな臭い話題が流布しています。敵基地攻撃が、専守防衛だとは思えません。核共有は、唯一の被爆国として、その凄惨な実体験に基づき、核兵器廃絶を世界に訴える人々の切実な思いを踏みにじるものです。改憲は、このような動きの第一歩です。戦争に向かう改憲は、絶対に認められません。昨年10月に発足した岸田政権は、格差に苦しむ国民を新しい資本主義や資産所得倍増などの安易なキャッチフレーズで煙に巻き、その裏で、大幅な軍事費増額を実行し、軍拡に突き進む動きを見せています。7月に実施される参院選の結果が与える影響は重大です。今、私たちの主体的な行動が求められます。今、教育現場が、危機に瀕しています。教職はブラックが社会の常識となり、休職

者、離職者の増加に志願者の減少、教員不足が表面化し、教員の働き方改革がようやく話題になり始めましたが、その内実には注意が必要です。超勤隠しの1年単位の變形労働時間制は認められません。ようやく実現した教員免許更新制廃止も、代替研修が実施されるようでは、素直に喜べません。部活動の負担軽減といいながら、短絡的な活動縮小と手当減額が実情であるならば、納得できません。部活動地域移行も、問題点が明らかになりつつある現状、楽観できません。働き方改革どころか、課題は上積みされています。新型コロナウイルス感染拡大防止やGIGAスクール構想実施により、現場に丸投げされた業務は、単純な負担増です。新任者は十年程度までに特別支援学級を2年間担任し、最初の異動は中学にすることが、本当に優秀な教員を増やし、生徒や学校のためになることなのでしょうか。現場の混乱は避けられません。定年が引き上げられても、再任用されても、不合理的な低賃金ではモチベーションが維持できません。休日出勤はきちんと振り替えるべきです。特勤はきちんと処理されるべきです。健康維持が目的であるはずの振替が、後ろ16週特勤が当たり前の状況は異常です。教育現場の特性を考慮した、現実的な働き方改革を求めます。給特法見直しや業務削減、また、教育予算増額による教員の増員、少人数学級といった、根本的な取り組みを求めます。今、世界は、危機に瀕しています。ロシアが隣国ウクライナに対し、軍による侵攻を開始して、4カ月がたちました。いまだ停

戦が見通せる状態には至らず、戦闘は、長期化しています。この戦争により、多くの人々の、尊い命が犠牲になっています。多くの人々の、大切な日常が奪われています。この戦争は、核兵器の脅威や国連の機能の問題を、世界に再認識させました。また、この戦争は、食料危機やエネルギー供給問題をはじめ、世界経済に多大な影響を及ぼし、世界各地の市民生活は混乱しています。新型コロナウイルスの世界的な蔓延も、いまだ収束が見通せる状態にはありません。ウイズコロナの段階に入ったとはいえ、毎日多くの死亡者が報告されています。地球温暖化をはじめ、環境問題も喫緊の要事です。今、私たちは、平和と命と生活の危機の中で、生きています。子どもたちを再び戦場に送らないために、子どもたちの未来をよりよいものにするために、私たちの人生をより豊かなものにするために、声をあげましょう。私たちひとり一人の声を社会に、世界に伝えるため、より大きく、より強く、みんなで声をあげましょう。そのために、組合があるのだと思います。そのために、より大きな、より強い組合を、作っていきましょう。本大会において、浜高教組員一同、要求実現のため、団結することを宣言します。2022年6月25日 横浜市立高等学校教職員組合 第79回定期大会 代議員一同